

2017年8月17日

株式会社デジタル・ナレッジ

# KnowledgeDeliver 6.5 リリースノート

日頃は弊社 KnowledgeDeliver / KnowledgeClassroom をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

本ドキュメントでは、KnowledgeDeliver の最新バージョン 6.5 と KnowledgeClassroom 2.5 の更新について説明します。

ご不明点がございましたら、弊社サポートセンタまでお問い合わせ願います。

## 1. 更新内容

下記、動作環境の作成、動作環境の追加、機能追加、機能改善、仕様変更、不具合対応を行いました。

### 動作環境の追加

---

2.1. 受講者 / 管理者クライアントの動作環境に下記の OS を追加しました。

- ・ macOS v10.12 Sierra

2.2. サーバの動作環境に下記の OS を追加しました。

- ・ Windows Server 2016
- ・ SQL Server 2016
- ・ SQL Server 2012 (Service Pack 3)

2.3. 教材作成クライアントの動作環境に下記のソフトウェアを追加しました。

- ・ Microsoft PowerPoint 2016

## 有償オプションの動作環境の追加

---

- 3.1. Video+型コンテンツの教材作成クライアントの動作環境に下記のソフトウェアを追加しました。
  - ・ Microsoft PowerPoint 2016
- 3.2. レスポンシブデザイン受講機能の受講者クライアントの動作環境に下記の OS と Web ブラウザを追加しました。
  - ・ Windows 10
  - ・ Windows 8.1
  - ・ Windows 7
  - ・ macOS v10.12 Sierra
  - ・ iOS 10.3
  - ・ Microsoft Internet Explorer 11
  - ・ Firefox
  - ・ Google Chrome

## 機能追加

---

- 4.1. アンケート機能に匿名アンケート単元を追加しました。
- 4.2. アンケート集計の回答一覧画面に 1 ユーザ 1 行 CSV 作成機能を追加しました。
- 4.3. ヘルプ画面にコンテンツや教科作成の制限事項等を記載したコンテンツ／教科作成手引書を追加しました。

## 機能改善

---

- 5.1. 受講画面から Microsoft Silverlight をダウンロードした場合に「.exe」以外の拡張子でファイルがダウンロードされないように対応しました。
- 5.2. ブラウザやキーボード操作上から「戻る」「更新」などの操作を行った際に受講履歴を重複して送信しないように対応しました。
- 5.3. AMS 一覧画面からエクスポートした CSV ファイル内でメッセージ本文や上司用メッセージ本文内の改行コードを統一してエクスポートするように対応しました。
- 5.4. 受講者別受講状況機能から対象部門選択画面、対象クラス選択画面、対象教科選択画面に移動する際のパフォーマンス改善を行いました。
- 5.5. アンケート集計画面から別画面に移動する際のパフォーマンス改善を行いました。
- 5.6. コンテンツを作る画面から別画面に移動する際のパフォーマンス改善を行いました。
- 5.7. 教科反映する際のパフォーマンス改善を行いました。

- 5.8. スマートフォン受講機能で PDF 型テキストコンテンツを受講できるように対応しました。
- 5.9. 中国語(簡体字)の翻訳の見直しを行いました。

#### 有償オプションの機能改善

---

- 6.1. iOS 10 の iPhone 端末で Video+型コンテンツの各アイテムが利用できるように対応しました。
- 6.2. Video+型コンテンツの画質が向上しました。
- 6.3. レスポンシブデザイン受講機能でブラウザやキーボード操作上から「戻る」「更新」などの操作を行った際に受講履歴を重複して送信しないように対応しました。

#### 仕様変更

---

- 7.1. PDF 型テキストコンテンツの受講時に Adobe Acrobat Reader を利用せずに HTML5 を利用して PDF 型テキストコンテンツを表示するように変更しました。
- 7.2. イメージカタログを削除した際にサーバ上からもイメージカタログの画像ファイルを削除するように変更しました。
- 7.3. 1 ページに 1 問出題形式の実力テスト単元と完全理解テスト単元で解答を選択、入力した状態で制限時間に達した場合の正誤判定方法を変更しました。
- 7.4. Google Chrome と同じく Firefox と Safari でもプラグインなしで PowerPoint 型テキストコンテンツ(動画・音声連動のアニメーション付きスライドコンテンツ)を表示するように変更しました。
- 7.5. Web ページ参照型テキストコンテンツで参照先の Web ページによっては画面下にスクロール出来ない場合があったので参照方法を変更しました。

#### 不具合対応

---

- 8.1. 現在の部門名ではなく更新前の部門名が表示されてしまう不具合を修正しました。
- 8.2. 1 ページに 1 問出題形式のテスト単元で中断後に受講を再開すると読み込み中の状態が続いてしまい受講を再開することができない場合がある不具合を修正しました。
- 8.3. 1 ページに 1 問出題形式の実力テスト単元で正解が複数設定されている記述形式の場合に解答は正解なのに正誤判定では「不正解」と判定されてしまう場合がある不具合を修正しました。
- 8.4. インフォメーション閲覧画面で添付されているファイル名が正しく表示されない場合がある不具合を修正しました。
- 8.5. 受講者別受講状況機能の対象部門選択画面、対象クラス選択画面、対象教科選択画面で 1001 件以上を選択した場合にシステムエラー画面に移動してしまう不具合を修正しました。

## 2. 動作環境の追加

### 2.1. macOS v10.12 Sierra 対応

今回のバージョンアップで受講者 / 管理者クライアントの動作環境に下記の OS を追加しました。

※ 教材作成クライアントには対応していません。

受講者 / 管理者クライアント

---

対応 OS (追加分の OS のみ記載)

---

- macOS v10.12 Sierra

### 2.2. サーバの動作環境更新

今回のバージョンアップでサーバの動作環境に下記の OS とデータベースを追加しました。

Windows Server

---

対応 OS (追加分の OS のみ記載)

---

- Windows Server 2016

SQL Server

---

対応 データベース (追加分のデータベースのみ記載)

---

- SQL Server 2016
- SQL Server 2012 (Service Pack 3)

## 2.3. Microsoft PowerPoint 2016 対応

今回のバージョンアップで教材作成クライアントの動作環境に下記のソフトウェアを追加しました。

教材作成クライアント

---

対応 ソフトウェア（追加分のソフトウェアのみ記載）

---

- Microsoft PowerPoint 2016

## 3. 有償オプションの動作環境の追加

### 3.1. Video+型コンテンツの Microsoft PowerPoint 2016 対応

今回のバージョンアップで Video+型コンテンツの教材作成クライアントの動作環境に下記のソフトウェアを追加しました。

教材作成クライアント

---

対応 ソフトウェア（追加分のソフトウェアのみ記載）

---

- Microsoft PowerPoint 2016

### 3.2. レスポンシブデザイン受講機能の動作環境更新

今回のバージョンアップでレスポンシブ受講機能の受講者クライアントの動作環境に下記の OS と Web ブラウザを追加しました。

※ 管理者クライアントと教材作成クライアントには対応していません。

※ 3G/4G/LTE 回線でのご利用の場合には携帯電話会社の容量制限に達して動作が遅くなる場合があります。

また、無線 LAN (Wi-Fi) でのご利用の場合には環境構築時の設定や周辺環境などによる影響を受けて動作が遅くなる場合がありますので、導入環境で十分に検証の上ご利用ください。

#### 受講者クライアント

---

##### 対応 OS

---

- Windows 10 [64 ビット版]
- Windows 8.1 [32 ビット版／64 ビット版]
- Windows 7 [32 ビット版／64 ビット版]
- macOS v10.12 Sierra
- iOS 10.3

##### 対応 Web ブラウザ

---

- Microsoft Internet Explorer 11
- Firefox
- Google Chrome

## 4. 機能追加

### 4.1. 匿名アンケート単元を追加 [受講者側 / 管理者側]

アンケートに匿名アンケート単元機能を追加しました。

#### 単元設定 [教科設計者]

「教科一覧 ▶ 教科目次 ▶ (アンケート単元の)単元設定」画面の単元種別項目に「匿名アンケート単元」を追加しました。

#### ユーザ管理 [ユーザ管理者]

匿名アンケート単元の場合、「部門管理 ▶ ユーザ管理 ▶ 履歴閲覧 ▶ 教科目次 ▶ 単元トップ」画面の実施回が非活性になっており、受講者のアンケート回答履歴を確認できないようになります。

#### 受講者別受講状況 [ユーザ管理者 / クラス運用者]

下記の画面において、実施回が非活性になっており、受講者のアンケート回答履歴を確認できないようになります。

- 「部門管理 ▶ 受講者別受講状況 ▶ 教科目次 ▶ 単元トップ」画面
- 「クラス管理 ▶ タスク選択 ▶ 受講者別受講状況 ▶ 教科目次 ▶ 単元トップ」画面

#### 教科別受講状況 [ユーザ管理者 / クラス運用者]

下記画面や CSV ファイル内において、氏名、ユーザ ID、ニックネーム、部門名の回答者情報を伏せて表示します。

- 「部門管理 ▶ 教科別受講状況 ▶ 単元別受講状況」画面
- 「部門管理 ▶ 教科別受講状況 ▶ 単元別受講状況」画面の[CSV 作成]ボタンから出力した CSV ファイル内
- 「クラス管理 ▶ タスク選択 ▶ 教科別受講状況 ▶ 単元別受講状況」画面
- 「クラス管理 ▶ タスク選択 ▶ 教科別受講状況 ▶ 単元別受講状況」画面の[CSV 作成]ボタンから出力した CSV ファイル内

※ ニックネームは KnowledgeClassroom 限定のオプション機能になります。

## アンケート集計 [ユーザ管理者 / クラス運用者]

下記の画面において、「匿名」列を追加しました。

匿名アンケート単元の場合には匿名列に「○」が表示され、通常のアンケート単元の場合には匿名列に「×」が表示されます。

- 「部門管理 ▶ アンケート集計」画面
- 「クラス管理 ▶ タスク選択 ▶ アンケート集計」画面

また下記画面や CSV ファイル内において、氏名、ユーザ ID、ニックネーム、部門名の回答者情報を伏せて表示します。

- 「部門管理 ▶ アンケート集計 ▶ 回答一覧 ▶ 個別回答一覧」画面
- 「部門管理 ▶ アンケート集計 ▶ 回答一覧」画面の[ユーザ別の詳細 CSV 作成]ボタンから出力した CSV ファイル内
- 「部門管理 ▶ アンケート集計 ▶ 回答一覧」画面の[1 ユーザ 1 行 CSV 作成]ボタンから出力した CSV ファイル内
- 「クラス管理 ▶ タスク選択 ▶ アンケート集計 ▶ 回答一覧 ▶ 個別回答一覧」画面
- 「クラス管理 ▶ タスク選択 ▶ アンケート集計 ▶ 回答一覧」画面の[ユーザ別の詳細 CSV 作成]ボタンから出力した CSV ファイル内
- 「クラス管理 ▶ タスク選択 ▶ アンケート集計 ▶ 回答一覧」画面の[1 ユーザ 1 行 CSV 作成]ボタンから出力した CSV ファイル内

※ ニックネームは KnowledgeClassroom 限定のオプション機能になります。

## 教科目次のアイコン画像 [受講者側 / 管理者側]

教科目次画面に表示されるアンケート単元のアイコン画像は下記の通りになります。

・ アンケート単元	⇒		・ 匿名アンケート単元	⇒	
・ スマートフォン受講機能のアンケート単元	⇒		・ スマートフォン受講機能の匿名アンケート単元	⇒	
・ レスポンシブデザイン受講機能のアンケート単元	⇒		・ レスポンシブデザイン受講機能のアンケート単元	⇒	

※ レスポンシブデザイン受講機能は有償オプション機能になります。



## 4.2. アンケート集計に 1 ユーザ 1 行 CSV 作成機能を追加 [ユーザ管理者 / クラス運用者]

下記の画面において、[1 ユーザ 1 行 CSV 作成]ボタンを追加しました。

[ユーザ別の詳細 CSV 作成]ボタンと[1 ユーザ 1 行 CSV 作成]ボタンから出力した CSV ファイルの違いは下記のようになります。

- [ユーザ別の詳細 CSV 作成]ボタンから出力した CSV ファイルは、受講者の実施回と各設問の回答ごとに行が分かれています。
- [1 ユーザ 1 行 CSV 作成]ボタンから出力した CSV ファイルは、受講者の実施回ごとに行が分かれており、各設問の回答は 1 行の各列に分かれています。

※ [1 ユーザ 1 行 CSV 作成]ボタンから出力した CSV ファイルには、アンケート設問(コメント付き)のコメントは出力されませんので、ご注意ください。

## 4.3. ヘルプにコンテンツ／教科作成手引書を追加 [コンテンツ作成者 / 教科設計者]

ヘルプ画面に「コンテンツ／教科作成手引書」を追加しました。

こちらは、コンテンツ作成者か教科設計者の権限が付与されているユーザのみ表示されます。

# 5. 機能改善

## 5.1. Microsoft Silverlight をダウンロードした際のファイル拡張子 [受講者側 / 管理者側]

PowerPoint 型テキストコンテンツや映像参照型テキストコンテンツの受講画面やプレビュー画面から Microsoft Silverlight をダウンロードした場合、受講者クライアントの動作環境によってはファイルの拡張子が「.0」になってしまう場合があったので、「.exe」以外の拡張子でファイルがダウンロードされないように対応しました。

## 5.2. ブラウザの「戻る」「更新」などの操作を行った際の受講履歴重複送信に対応 [受講者側]

テスト単元、アンケート単元、レポート単元の受講画面でブラウザやキーボード操作上から「戻る」「更新」などの操作を行った際に、受講履歴が重複して送信されてしまう場合があったので、ブラウザやキーボード操作上から「戻る」「更新」などの操作を行っても受講履歴を重複して送信しないように対応しました。

### 5.3. AMS 機能でメッセージ本文内の改行コードを統一して CSV ファイルをエクスポート [クラス運用者]

「クラス管理 ▶ タスク選択 ▶ AMS 一覧」画面から AMS 設定をエクスポートした場合、CSV ファイル内のメッセージ本文や上司用メッセージ本文内で改行コードが統一されていない状態でエクスポートされる場合があったので、改行コードを統一して CSV ファイルをエクスポートするように対応しました。

### 5.4. 受講者別受講状況機能のパフォーマンス改善 [ユーザ管理者 / クラス運用者]

下記画面から対象部門選択画面、対象クラス選択画面、対象教科選択画面に移動する際のパフォーマンス改善を行いました。

- 「部門管理 ▶ 受講者別受講状況」画面
- 「クラス管理 ▶ タスク選択 ▶ 受講者別受講状況」画面

### 5.5. アンケート集計機能のパフォーマンス改善 [ユーザ管理者 / クラス運用者]

下記画面から回答一覧画面に移動する際のパフォーマンス改善を行いました。

- 「部門管理 ▶ アンケート集計」画面
- 「クラス管理 ▶ タスク選択 ▶ アンケート集計」画面

### 5.6. 教材作成機能のパフォーマンス改善 [コンテンツ作成者]

コンテンツを作る画面から別画面に移動する際のパフォーマンス改善を行いました。

### 5.7. 教科反映時のパフォーマンス改善 [教科設計者]

下記画面から教科反映する際のパフォーマンス改善を行いました。

- 「教科一覧 ▶ 教科反映」画面
- 「教科一覧 ▶ 教科目次 ▶ 教科反映」画面

## 5.8. スマートフォン受講機能で PDF 型テキストコンテンツに対応 [受講者側]

スマートフォン受講機能で PDF 型テキストコンテンツを受講できるように対応しました。

※ HTML5 を利用しているため Android 4.3 以下、iOS 5 以下の端末には対応しておりませんので、ご注意ください。

## 5.9. 中国語(簡体字)の翻訳の見直し [受講者側 / 管理者側]

下記の画面において、中国語(簡体字)の翻訳の見直しを行いました。

※ 主な画面のみご紹介致します。

- ログイン画面
- ホーム画面
- システム設定画面
- 部門管理画面

## 6. 有償オプションの機能改善

### 6.1. iOS 10 の iPhone 端末で Video+型コンテンツの各アイテムを利用できるように対応 [受講者側]

iOS 10 の iPhone 端末がインライン再生に対応したのに伴い、iOS 10 の iPhone 端末で Video+型コンテンツの各アイテムを利用できるように対応しました。

※ iOS 9 以下の iPhone 端末では、動画のみの再生となりテロップやスライドなどの各アイテムは表示されませんので、ご注意ください。

### 6.2. Video+型コンテンツの画質向上 [受講者側 / 管理者側]

Video+型コンテンツの動画内に表示されている文字や図形の斜線、曲線の輪郭を補正して、滑らかに表示するように修正しました。

### 6.3. レスポンシブ受講機能でブラウザの「戻る」「更新」などの操作を行った際の受講履歴重複送信に対応 [受講者側]

レスポンシブ受講機能で、テスト単元、アンケート単元、レポート単元の受講画面でブラウザやキーボード操作上から「戻る」「更新」などの操作を行った際に、受講履歴が重複して送信されてしまう場合があったので、ブラウザやキーボード操作上から「戻る」「更新」などの操作を行っても受講履歴を重複して送信しないように対応しました。

## 7. 仕様変更

### 7.1. PDF 型テキストコンテンツの表示方法を変更 [受講者側 / 管理者側]

PDF 型テキストコンテンツの受講画面やプレビュー画面で、Adobe Acrobat Reader を利用せずに HTML5 を利用して PDF 型テキストコンテンツを表示するように変更しました。

### 7.2. イメージカタログを削除した場合にサーバ上からも画像ファイルを削除するように変更

イメージカタログを削除した際に、サーバ上からもイメージカタログの画像ファイルを削除するように変更しました。

### 7.3. 1 ページに 1 問出題形式のテスト単元で制限時間に達した場合の正誤判定方法を変更 [受講者側]

1 ページに 1 問出題形式の実力テスト単元と完全理解テスト単元で、解答を選択、入力した状態で制限時間に達した場合の正誤判定方法を変更しました。

- ・ 他設問から戻ってきて解答を変更した状態で制限時間に達した場合  
(変更前の実力テスト単元) 変更する前の解答で正誤判定を行う  
→(変更後の実力テスト単元) 変更した解答で正誤判定を行う
- ・ 解答を選択、入力した状態で制限時間に達した場合  
(変更前の完全理解テスト単元) 選択、入力した解答をテスト履歴画面の解答列に表示するが、未解答として正誤判定を行う  
→(変更後の完全理解テスト単元) 選択、入力した解答はテスト履歴画面の解答列に表示しないようにし、未解答として正誤判定を行う

#### 7.4. Firefox と Safari での PowerPoint 型テキストコンテンツ再生形式を変更

[受講者側 / 管理者側]

昨今、セキュリティリスク回避の流れから、ブラウザ上でのプラグイン実行が制約される動きがあります。

この流れを受けまして、今回の更新から Firefox や Safari で PowerPoint 型テキストコンテンツ(動画・音声連動のアニメーション付きスライドコンテンツ)を表示した場合、Silverlight を利用した表示から HTML5 を利用して PowerPoint 型テキストコンテンツを表示するように変更しました。

- ※ Google Chrome は KnowledgeDeliver 6.1 で対応しています。
- ※ Microsoft Edge は KnowledgeDeliver 6.4 で対応しています。
- ※ Internet Explorer 11 につきましては、次回以降の対応を予定しております。

#### 7.5. スマートフォン受講機能での Web ページ参照型テキストコンテンツの参照方法を変更 [受講者側]

スマートフォン受講機能で、Web ページ参照型テキストコンテンツに設定されている参照先の Web ページによっては受講画面で画面下にスクロール出来ない場合があったので、参照方法を変更しました。

- ※ KnowledgeDeliver 6.5(2017年7月24日リリース)より以前に作成された Web ページ参照型テキストコンテンツの場合、コンテンツを更新する必要があります。

## 8. 不具合対応

### 8.1. 現在の部門名ではなく更新前の部門名が表示されてしまう不具合を修正 [ユーザ管理者]

下記の画面において、部門名を更新したのに更新前の部門名が表示されてしまう場合がある不具合を修正しました。

- 「部門管理 ▶ 受講者別受講状況 ▶ 対象部門選択」画面
- 「部門管理 ▶ 受講者別受講状況」画面の検索結果
- 「部門管理 ▶ 受講者別受講状況」画面の[検索結果の CSV 作成]ボタンから出力した CSV ファイル内
- 「部門管理 ▶ ユーザ管理 ▶ ユーザ検索」画面の検索結果

こちらの不具合は KnowledgeDeliver バージョン 6.4 が対象となります。

### 8.2. テスト単元で中断後に受講を再開すると受講が再開されない不具合を修正 [受講者側]

1 ページに 1 問出題形式のテスト単元で、記述形式の解答欄に<script>タグの終了タグ </script> を入力した状態で中断すると、受講再開時に読み込み中の状態が続いてしまい受講を再開することができない不具合を修正しました。

こちらの不具合は KnowledgeDeliver バージョン 5.1 以降が対象となります。

### 8.3. 実力テスト単元で解答は正解なのに正誤判定では「不正解」となってしまう不具合を修正 [受講者側]

1 ページに 1 問出題形式の実力テスト単元で正解が複数設定されている記述形式の場合、解答に正解を入力した状態で制限時間に達すると解答は正解なのに正誤判定では「不正解」と判定されてしまう場合がある不具合を修正しました。

こちらの不具合は KnowledgeDeliver バージョン 5.1 以降が対象となります。

### 8.4. インフォメーション本文内の添付ファイル名が正しく表示されない不具合を修正 [受講者側]

下記の画面において、インフォメーション本文内の添付ファイル名が正しく表示されない場合がある不具合を修正しました。

- 「ホーム ▶ インフォメーション一覧 ▶ インフォメーション閲覧」画面
- 「ホーム ▶ クラストップ ▶ インフォメーション一覧 ▶ インフォメーション閲覧」画面
- 「ホーム ▶ コミュニティトップ ▶ インフォメーション一覧 ▶ インフォメーション閲覧」画面

こちらの不具合は KnowledgeDeliver バージョン 5.0 以降が対象となります。

## 8.5. 受講者別受講状況機能で1001件以上のデータを選択した場合の不具合を修正 [ユーザ管理者 / クラス運用者]

下記画面の対象部門選択画面、対象クラス選択画面、対象教科選択画面において、1001件以上のデータを選択した状態で[決定]ボタンや[検索]ボタンを押下すると、システムエラー画面に移動してしまう不具合を修正しました。

- 「部門管理 ▶ 受講者別受講状況 ▶ 対象部門選択」画面で[決定]ボタンを押下
- 「部門管理 ▶ 受講者別受講状況 ▶ 対象クラス選択」画面で[決定]ボタンを押下
- 「部門管理 ▶ 受講者別受講状況 ▶ 対象教科選択」画面から受講者別受講状況画面に戻って[検索]ボタンを押下
- 「クラス管理 ▶ タスク選択 ▶ 受講者別受講状況 ▶ 対象部門選択」画面から受講者別受講状況画面に戻って[検索]ボタンを押下
- 「クラス管理 ▶ タスク選択 ▶ 受講者別受講状況 ▶ 対象教科選択」画面から受講者別受講状況画面に戻って[検索]ボタンを押下

こちらの不具合は KnowledgeDeliver バージョン 6.4 が対象となります。

以上